

武雄市立武雄中学校学校便り

叶武



NO. 14 令和2年10月12日
〒843-0024
武雄市武雄町大字富岡11606番地
TEL 0954-22-4105
文責 校長 熊野辰未

学校教育目標 「高い志と誇りを持ち、心豊かで輝く生徒の育成」

少しずつ気温も下がり、朝晩は肌寒くなってきました。季節の変わり目は、体調を崩しやすいものです。手洗い、うがい、マスク着用等 新型コロナウイルス感染症予防対策も含め、体調管理は万全にしたいものです。

今年度は、コロナ禍のために供日行事等も中止となり、例年とは異なる10月となるようです。

《二学期がスタートしました》

本日から今年度の後半である二学期がスタートしました。始業式での話の内容です。

みなさん、おはようございます。始業式が始まる前にたくさんの表彰報告をしてもらいました。コロナ禍の中で試合等が中止となり機会が減っている中に、これだけの表彰報告がなされている学校はそうないと思いますよ。みなさんの活躍は本当に素晴らしいと思います。私は誇りに思います。みなさんが、文化面やスポーツ面に一生懸命頑張っていることが大切なことであり、その努力の延長に結果がついてきます。本当にみなさんは、素晴らしいと思います。

さて、今日から二学期が始まります。先ほど各学年の代表3名の人に二学期の抱負を発表してもらいましたが、それぞれに二学期に向けた意気込み、意欲を感じました。1週間後は体育大会があり、11月17日には、生徒会長選挙と大きな学校行事が残っています。

そこで、みなさんに次のことを期待します。まず、一人一人の心を一つにして、学校行事を成功させ、「いいこといっぱい」の武雄中学校の実現を期待します。そして、行事を通して学級や学年の絆を強め、一人一人が大きく成長することを願っています。実り大きい二学期にしてもらいたいと思います。

終業式に続いてうれしい手紙を紹介します。それは、みなさんが、生徒会を中心に七月の熊本県南部を中心に被害が出た豪雨災害に対して募金活動を行い、集まった募金を人吉市に送ってくれていたと思います。その人吉市の第一中学校生徒会執行部からの手紙です。

武雄中学校も次の日曜日は、体育大会です。人吉第一中学校に負けないような感動する素晴らしい体育大会を創り上げてもらいたいと思います。

この度は、七月豪雨災害に際し、義援金を
いただき、本当にありがとうございます。

報道等でご存じの通り、私たちが住む人吉市は、
今回の災害で大きな被害を受けました。幸い、
第一中学校の生徒はみんな無事でしたが、
住む家や保護者の勤務先、親戚が大きな
被害を受けた生徒もいます。そして、登下校の際に
見慣れていた故郷の町並みが一変してしま
いました。

あれから三ヶ月が経とうとしています。人吉球磨みんな
で手をとりあい、また、県内ボランティアや自衛隊の
方々をはじめ多くの方々の力を借りて、私たちは
前に進み始めることができました。こうした中、
武雄中学校のみなさんから、心温まるご支援
をいただき、さらにかが湧きました。本当にあり
ありがとうございます。先日、「絆～はじける!!最高の
笑顔、仲間と共に完全燃焼～」のスローガン

のもと、体育祭を開催することもできました。例年
になく、半日での開催でしたが、全校生徒が
二倍の情熱を持って完全燃焼し、これまで
にない最高の体育祭を創り上げることに
なりました。こうした情熱を持ってこれから
も人吉球磨を盛り上げていきます。

簡単ではありますが、お見舞いのお礼とさせて
いただきます。

残暑厳しい日が続きますが、武雄中学校の
皆様も体を大切にされ、元気にお過ごしください。

令和二年 九月二十四日

人吉市立第一中学校 生徒会執行部一同

今の学級集団は、武雄中学校の一つの学級で、中学校の学習内容をきちんと学ぶこと、自分の進路を考え選んでいくこと、また、将来社会人として必要な力を身につけることなど、目的を持った集団です。その目的実現のために、一人一人が役割を分担して、みんなのためになることをやってもらうこととなります。そして、誰かが困っているときには助け、協力して、励ます言葉、支える言葉をかけ合うことによって集団も高まり、すばらしい集団となっていきます。また、そのことにより、一人一人も成長していくこととなります。そのような仲間、集団であることを望みます。

それでは、学期の初めですのでこれから心がけてもらいたいことを話したいと思います。

人間には約60兆個の細胞があり、そのうち毎日約20%(12兆個)がなくなって、毎日これを補っているそうです。

脳細胞は、というと3歳頃まで増殖し、その後は全く増えず生き続け、10代からは減少するのみのことです。実際は、20歳頃から1日20万個から30万個の規模で脳の細胞が死滅するのみです。我々の脳には、学習活動をつかさどる大脳皮質だけで140億個の脳細胞があり、すべて死滅するのに70,000日、約192年かかる計算になります。脳は使わないと衰えるので、遠慮無く使うことです。使えば使うほど脳は活性化するといわれています。「脳は決して疲れない」とある本には書かれています。脳を鍛えるときはいつか、「今でしょ。」ということです。鍛えていない人は、今からしっかり鍛えてもらいたいと思います。

特に、3年生は、いよいよ正念場です。この秋の努力が自分自身を高めてくれます。決して、あきらめることなく、夢、目標に向かってコツコツ努力を続けてもらいたいと思います。15の春を笑顔で迎えられるようにがんばりましょう。

最後に、2つの言葉を紹介します。

1つめは、職員室の廊下にも掲示していますが、

「意志あるところに道は開ける」

アメリカ合衆国第16代大統領エイブラハム・リンカーンの言葉です。どんなに困難な道でもそれをやり遂げる意志さえあれば必ず道は開けるといことです。

2つめは、教室棟1階の西側階段前に掲示していますが、

「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。」

作家の井上靖の言葉です。

希望を語る人は努力するけど、不満ばかり言っている人は怠けるようになってしまっても解釈できそうです。

人間は、夢や希望・目標があるからこそがんばることができるのです。将来の夢や高い志を持って具体的な計画を立て、確実に一歩が踏み出せるようにがんばってください。

みなさんが、さらに活躍する二学期を期待しています。